

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（特養）

施設名 本能特別養護老人ホーム

1 施設の管理運営

24時間365日の運営を行っている。夜間は夜勤を行っている介護職員を基準以上に配置し、緊急事態にあつては、施設長又はそれに準ずる職員への連絡・報告・相談体制を365日24時間とっている。また、建物管理については、専門の業者に依頼し、定期点検の実施を含め、維持管理に努めている。加えて、防災マニュアルや感染症及び自然災害に対するBCPの作成、防災訓練の実施により、非常災害時の対応を計画的に行っている。消防への通報装置、警察通報装置も設置しており、非常事態にも即応できる環境がある。

【定員】90名

2 事業実施内容

（1）指定管理業務（本来業務：特別養護老人ホーム）
24時間365日の運営を行っている。夜間は夜勤を行っている介護職員を基準以上に配置し、緊急事態にあつては、施設長又はそれに準ずる職員への連絡・報告・相談体制を365日24時間とっている。また、建物管理については、専門の業者に依頼し、定期点検の実施を含め、維持管理に努めている。加えて、防災マニュアルや感染症及び自然災害に対するBCPの作成、防災訓練の実施により、非常災害時の対応を計画的に行っている。消防への通報装置、警察通報装置も設置しており、非常事態にも即応できる環境がある。

【定員】90名

（2）指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

【職員体制】施設長1名、副施設長1名、介護支援課長1名、医師3名、生活相談員2名、介護職員48名、看護師7名（ショートと一体）、管理栄養士1名、機能訓練指導員1名、事務員2名（ショートと一体）

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

・給食調理業務

4 市内中小企業への発注に対する考え方

委託への考え方

- （1）業務内容が専門的な知識を必要とし、かつ施設内の職員では対応が困難な業務の場合。
 - （2）法人が専門的に行う業務ではないため、専門に行う業者のほうがより効率的に、かつ質の高いものを提供できると判断できる場合
 - （3）業務内容は簡易であるが、行う人材を集めることが容易でない場合、その業務を行える人材を集めることに特化した業者がある場合
- また、備品購入等の発注については、市内の業者を優先して活用している。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)延べ利用者数

①令和6年度実績値 31,213 人

②令和7年度目標値 31,534 人

(2)稼働率

①令和6年度実績値 95 %

②令和7年度目標値 96 %

(3) 収支実績

ア 本来業務（特別養護老人ホーム）

介護保険収入	367,002,432
利用料収入	116,134,081
委託料収入	68,750
補助金収入	3,207,076
寄付金収入	790,650
雑収入	116,325
その他	9,133,277
収入計	496,452,591

令和6年度収入状況及び支出の状況

（単位：円）

人件費	334,848,323
事業費	72,589,642
委託費	36,154,560
小額修繕費	1,789,980
その他	77,292,139
支出計	522,674,644

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

毎年入居者・家族へのアンケート調査を継続して実施している
その他の日常的な取組みとしては、入退居の送迎を介護職員が行うことにより、書面だけではなく、口頭での利用時のご様子報告を大切にしている。その際にご自宅での困りごとや介護に関する悩みなど、様々なことを相談していただけるように顔の見える関係づくりを大切にしている。

(2) 利用者満足度把握の結果

結果については、適宜、入居者・利用者へ返答すると共に、個別ケアやケアプラン等へ活かしている。
また、アンケート結果については、送付して周知をしている。

(3) 意見等への主な対応状況

申し出があった場合は、当該職員や入居者及び家族から聞き取りを行うなど、実態調査を実施し、一両日中に回答している。その内容や経過については、調査結果を代表者会議や各部署の会議で報告し、様々な職員が共有できるようにしている。
これらご利用者・ご家族のご意見を踏まえ、サービスの質の向上に向けて、法人・施設内研修の充実、法定基準以上の人員配置、居住環境の改善などに取り組んでいる。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

（１）いかなる障害があろうとも尊厳のある暮らしを支援するために、徹底した倫理教育・研修を行うと共に、職員自身が自身のケアや対応を見直す機会が定期的に持てるような仕組み構築し、どの職員も、誰に対しても丁寧な言葉遣いに対応ができるようにすることで、指定管理施設に相応しい運営管理ができていると評価する。
（２）指定管理施設として、社会資源の有効活用を更に推進するため、新規入居者の速やかな入居支援や特養入院者が出た場合のショートステイ利用の促進を図っている。
（３）近隣住民や地域社会との関係性を重視し、日頃から顔の見える関係性の構築と維持に努めてきた。施設の入居者・利用者のことを地域の皆様が気にかけてくださっていたことに感謝するとともに、これまで取り組んできた、地域に根差した施設運営がしっかりと行き届いていた結果として評価できていると考えている。今後も地域のまちづくりへの貢献ができるように取り組んでいきたい。

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（短期）

施設名 本能短期入所施設

1 施設の管理運営

24時間365日の運営を行っている。夜間は夜勤を行っている介護職員を基準以上に配置し、緊急事態にあつては、施設長又はそれに準ずる職員への連絡・報告・相談体制を365日24時間とっている。また、建物管理については、専門の業者に依頼し、定期点検の実施を含め、維持管理に努めている。加えて、防災マニュアルや感染症及び自然災害に対するBCPの作成、防災訓練の実施により、非常災害時の対応を計画的に行っている。消防への通報装置、警察通報装置も設置しており、非常事態にも即応できる環境がある。
【定員】10名

2 事業実施内容

- (1) 指定管理業務（本来業務：老人短期入所施設）
・老人短期入所施設
- (2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）
- 自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

【職員体制】
施設長 1 名、副施設長 1 名、介護支援課長 1 名、医師 3 名、生活相談員 1 名
介護職員 9 名、看護師 7 名（特養と一体）、管理栄養士 1 名（特養と一体）、事務員 2 名（特養と一体）

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）
・給食調理業務

4 市内中小企業への発注に対する考え方

委託への考え方
(1) 業務内容が専門的な知識を必要とし、かつ施設内の職員では対応が困難な業務の場合。
(2) 法人が専門的に行う業務ではないため、専門に行う業者のほうがより効率的に、かつ質の高いものを提供できると判断できる場合
(3) 業務内容は簡易であるが、行う人材を集めることが容易でない場合、その業務を行える人材を集めることに特化した業者がある場合
また、備品購入等の発注については、市内の業者を優先して活用している。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 延べ利用者数

①令和6年度実績値	4,694	人
②令和7年度目標値	4,672	人

(2) 稼働率

①令和6年度実績値	128.6	%
②令和7年度目標値	128	%

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人短期入所施設）

介護保険収入	53,939,452
利用料収入	17,335,804
委託料収入	244
補助金収入	462,095
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	464,026
収入計	72,201,621

令和6年度収入状況及び支出の状況

（単位：円）

人件費	42,003,866
事業費	8,491,554
委託費	4,307,596
小額修繕費	165,453
その他	9,736,626
支出計	64,705,095

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

毎年入所者・家族へのアンケート調査を継続して実施している
その他の日常的な取組みとしては、入退所の送迎を介護職員が行うことにより、書面だけではなく、口頭での利用時のご様子報告を大切にしている。その際にご自宅での困りごとや介護に関する悩みなど、様々なことを相談していただけるように顔の見える関係づくりを大切にしている。

(2) 利用者満足度把握の結果

結果については、適宜、利用者・家族へ返答すると共に、個別ケアやケアプラン等へ活かしている。
また、アンケート結果については、送付し周知するとともに、施設ホームページに掲載している。

(3) 意見等への主な対応状況

申し出があった場合は、当該職員や利用者及び家族から聞き取りを行うなど、実態調査を実施し、一両日中に回答している。その内容や経過については、調査結果を代表者会議や各部署の会議で報告し、様々な職員が共有できるようにしている。
これらご利用者・ご家族のご意見を踏まえ、サービスの質の向上に向けて、法人・施設内研修の充実、法定基準以上の人員配置、居住環境の改善などに取り組んでいる。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

（１）いかなる障害があろうとも尊厳のある暮らしを支援するために、徹底した倫理教育・研修を行うと共に、職員自身が自身のケアや対応を見直す機会が定期的に持てるような仕組み構築し、どの職員も、誰に対しても丁寧な言葉遣いに対応ができるようにすることで、指定管理施設に相応しい運営管理ができていると評価する。
（２）指定管理施設として、社会資源の有効活用を更に推進するため、新規入居者の速やかな入居支援や特養入院者が出た場合のショートステイ利用の促進を図っている。
（３）近隣住民や地域社会との関係性を重視し、日頃から顔の見える関係性の構築と維持に努めてきた。施設の入居者・利用者のことを地域の皆様が気にかけてくださっていたことに感謝するとともに、これまで取り組んできた、地域に根差した施設運営がしっかりと行き届いていた結果してと評価できていると考えている。今後も地域のまちづくりへの貢献ができるように取り組んでいきたい。

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書
(地域包括支援センター併設の居宅介護支援又は、老人介護支援センター)

施設名 本能ケアマネステーション

1 施設の管理運営

指定管理業務（京都市老人介護支援センター条例に規定する地域包括支援センターに併設の居宅介護支援又は老人介護支援センター）
居宅介護支援
営業日：年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く毎日。
営業時間：午前8時30分から午後5時30分
緊急時には担当者に連絡できる体制をとっています。
通常の事業の実施地域：中京区

2 事業実施内容

指定管理業務（京都市老人介護支援センター条例に規定する地域包括支援センターに併設の居宅介護支援又は老人介護支援センター）

3 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 収支実績

本来業務		令和6年度収入状況及び支出の状況		(単位：円)	
介護保険収入	30,976,669	人件費	21,896,144		
利用料収入	0	事業費			
委託料収入	271,400	委託費	149,838		
補助金収入	101,086	小額修繕費	4,793		
寄付金収入	0	その他	2,090,683		
雑収入	0	支出計	24,141,458		
その他	661,491				
収入計	32,010,646				